

認知症サポーターについて

役割

認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守ることができる、認知症の人への「応援者」のこと。

認知症サポーター養成講座

約90分の講義を受講することでサポーターとなります。サポーターにはその証であるオレンジリングが授与されます。



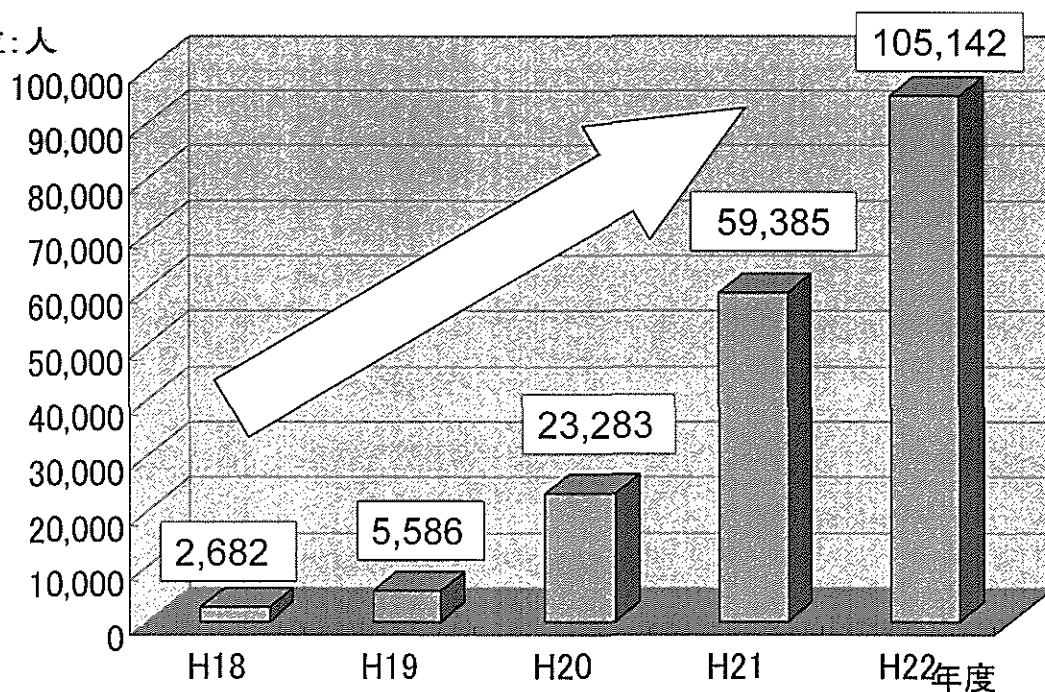
(講座内容)

- ・認知症とはどういうものか
- ・認知症の予防
- ・認知症の症状
- ・中核症状
- ・周辺症状とその支援
- ・認知症の人と接するための心構え等

24

認知症サポーターの養成数

単位:人



H20年8月に知事がサポーターとなった以降、急激に増加し、人口比率で2年連続日本一

25

全国キャラバンメイト・連絡協議会から
蒲島知事へ感謝状を贈呈



都道府県知事としては
 全国初の
 認知症サポーター

- ・ 全国での認知症サポーターの養成について、平成21年5月末に当初目標にしていた100万人を達成。
- ・ これを記念した大会が、平成21年7月26日に東京都で開催。
- ・ その中で100万人達成功労者として21団体・個人へ感謝状が贈呈され、個人としては唯一、蒲島知事が選ばれた。

〔選考理由〕

蒲島知事が平成20年8月26日に認知症サポーター養成講座を受講し、知事として全国初の認知症サポーターになった。そのことを契機に、県内の認知症サポーター養成が一気に進んだことが評価された。

熊本県認知症サポーター活動促進ハンドブック

認知症地域支援体制構築等推進事業におけるモデル市町村の取り組み成果を取りまとめ、認知症サポーターの養成やその具体的な活動等について掲載。平成23年3月に作成。

ハンドブックは①養成編、②活動編、③資料編の3部構成。

養成編

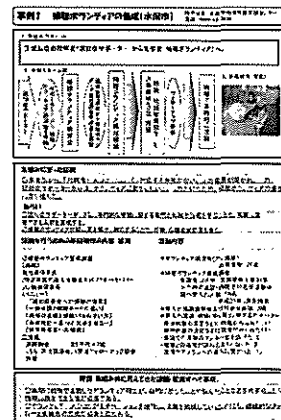
- 認知症サポーター養成の目的
- 認知症サポーターの役割
- 認知症サポーター養成講座、キャラバン・メイト養成研修の流れ

養成編

- 全国キャラバン・メイト連絡協議会の書式集
- 認知症サポーターの活用状況等に関するアンケート結果

活動編

- 認知症サポーターの活動事例の紹介
 【活動例】
 - ・ 傾聴ボランティアの養成（水俣市）
 - ・ 認知症アドバイザーの養成（菊池市）等
- 認知症地域支援体制構築等推進事業の取り組み成果



※熊本県庁のホームページからダウンロードできます。
 「熊本県ホームページトップ」－「県庁の組織でさがす」－
 「認知症対策・地域ケア推進課」－「認知症対策班」－「熊本県認知症のページ」
 －「地域支援体制の構築」

認知症ほっとコールについて

認知症の本人や家族への支援の一環として、①認知症介護の専門家や経験者等による相談対応、②家族に対する精神面の支援等を目的とした交流集会の開催等を行う「認知症コールセンター」(愛称:認知症ほっとコール)を設置し、認知症の本人や家族が気楽に相談できる体制を構築する。

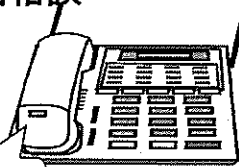
- ①ピアカウンセリング
- ②専門機関へのつなぎ

②家族交流集会



認知症の本人や家族の方々を支援するための交流集会・シンポジウム等を開催します

①電話相談



来所や訪問による相談対応も可

電話番号: 096-355-1755

さーこーいいなここ

開設日: 水曜日を除く週6日

(土、日、祝日含む)

開設時間: AM9:00~PM6:00

受託者: 認知症の人と家族の会

事務所: 熊本市上通町3-15ステラビル



★活動実績

- ・電話相談件数: 851件 (1ヶ月平均43件)
- ・家族交流集会: 40回(毎月2回)
- ・若年期認知症の集いを定期的に開催 (H21.7~H23.2の実績)

認知症コールセンターの機能強化

認知症コールセンターの利用促進、家族支援体制の強化のため、コールセンターに新たに精神医療相談の経験がある保健師等の専門職を配置(平成23年度~)。

【活動内容】

- コールセンターの周知活動
- 市町村からの要請があった場合の関係機関等へのつなぎ
- コールセンターの相談内容等に対する事例検討会の開催
- コールセンターでの相談対応 等

28

熊本県認知症啓発シンボルマークについて

熊本県認知症啓発シンボルマークについては、県民の認知症への正しい理解を促進し、認知症の普及・啓発を図ることを目的として、全国キャラバン・メイト連絡協議会が作成したロバマークを活用し、キャッチコピーを公募による募集のうえ、平成22年10月に制定。

シンボルマークの活用

●今後は、オレンジリングだけではなく、認知症関連の取組みの普及・啓発のために行う様々な活動の中でシンボルマークを活用し、普及を図っていく。

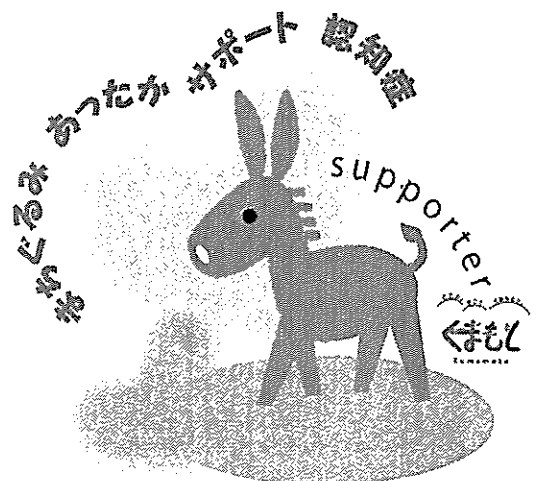
(平成22年度においては、缶バッジとシールを作成)

【活用例】

- ・缶バッジやシール等のグッズの作成、配布
- ・街頭啓発活動等で使用するノボリの作成
- ・名刺への掲載
- ・講演会等のチラシへの掲載 等

●市町村や介護・福祉の関係団体が、認知症の普及・啓発活動を行う場合に無料で使用可。

熊本県認知症啓発シンボルマーク



◆シンボルマークの使用等についてのお問い合わせは
熊本県認知症対策・地域ケア推進課まで(TEL:096-333-2216)

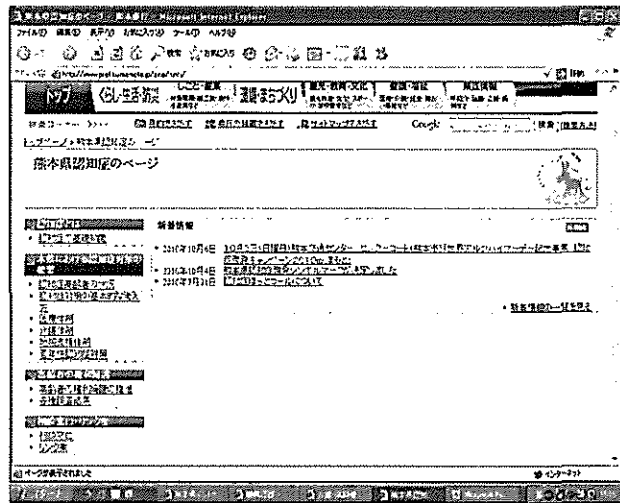
29

「熊本県認知症のページ」

認知症についての基礎知識や、熊本県の認知症対策等についての情報発信を目的として、平成22年度に「熊本県認知症のページ」を開設。

【掲載内容】

- 認知症の基礎知識
- 認知症高齢者の状況
- 熊本県の認知症対策の概要
 - ・「熊本モデル」認知症疾患医療センター
 - ・認知症サポーターの養成
 - ・若年性認知症対策 他
- 各種調査結果
- 相談窓口・リンク集 など

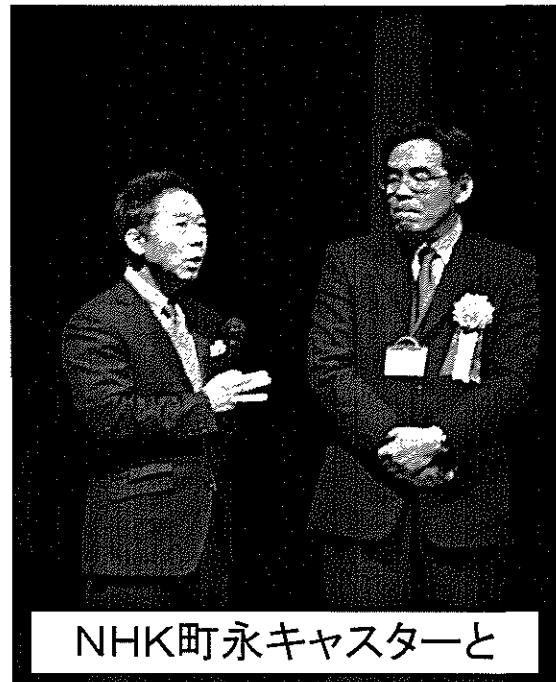


熊本県認知症のページへのアクセス

- 「熊本県ホームページトップ」-「健康・福祉」-「介護・高齢者福祉」-「注意(注目)情報」-「熊本県認知症のページ」
- 「熊本県ホームページトップ」-「県庁の組織でさがす」-「認知症対策・地域ケア推進課」-「認知症対策班」-「熊本県認知症のページ」

30

「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2009 「町づくり2009」モデルに熊本県が選定！！



NHK町永キャスターと

東京：日経ホールで表彰式 平成22年3月6日(土)
都道府県としては初授賞

31

熊本県は蒲島知事の下、現場と行政が一体となり、認知症対策に積極的に取り組んでいます！

